

資料3

科学三昧・京都産業大学益川塾に於いての発表

12月26日に自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンターにおいて開催されたあいち科学技術教育推進協議会「科学三昧inあいち2013」では、愛知県内SSH指定校、SPP実施校、コスモサイエンスコース設置校等の生徒研究発表、その他の高等学校によるポスター発表、大学、研究機関、高校部活動等によるブースでの情報発信が行われた。

本校からは、生徒研究員制度の相対論・宇宙論プロジェクトは英語による口頭発表とパネル発表を行い、チャンドラセカールプロジェクトは英語によるパネル発表を行った。他にも、スライムモールドプロジェクトとヒドラプロジェクトがパネル発表を行った。

ポスター発表では、見学者からたくさんの質問や多様なアドバイスをもらうことができた。客観的な意見を聞くことは、課題の設定、実験や検証の方法、結果の分析、考察の方法といった基本的な科学的な思考経路の重要性を再認識するよい機会となった。

物理プロジェクトは12月7日に開催された、京都産業大学益川塾のポスターセッションにも参加し、「特殊相対性理論の世界」に関する発表を英語で行った。



科学三昧 物理プロジェクト